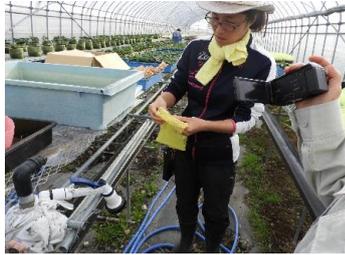


作物名;いちご	高設ベンチ栽培(岐阜県方式)
作業名:親株定植準備・定植/親株栽培槽の準備、栽培培地充填・施肥、定植、かん水、親苗床の配置	服装;作業服、帽子・ビニール手袋

### 親株栽培槽の準備



- ①すべての器具は、アルコール消毒しておく
- ②ヤシガラを袋から出してほぐしておく
- ③親株定植用袋(キッチン水切り袋を使用)を立てた時13cmの高さにフチを折りたたむ

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コファイバーは、40kgの大きなビニール袋に塊となって詰まっているので、熊手(小)でほぐした後、細くなるまで両手でほぐしておく</li> <li>・親株定植用袋は、親苗数300袋/本ぼ10a準備する</li> </ul>
----------------	--

### 栽培培地充填・施肥(親苗床づくり)



- ④③の親株定植用袋にほぐしたヤシガラを半分の高さまで詰める
- ⑤肥料を30gずつカップで計って④に入れる



計量した肥料→

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥料は、専用のカップ(ペットボトルをキャップの付いている所から2cm位のところで切ったもの;手作り)ですり切り1杯(30g)を入れていく</li> </ul>
----------------	---

### 苗を植える



- ⑥⑤の親株定植用袋にヤシガラを8分目になるまで入れる
- ⑦苗をポットからはずし、⑥の親苗床の中央に苗を植える
- ⑧苗の周りにヤシガラを詰める

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親苗床に苗を植える時は、購入苗のランナーの切り先が、袋の縫い目の方になるように苗を植える</li> </ul>
----------------	---

### 苗を固定させる



- ⑨ヤシガラの上から苗を固定するように軽く押す
- ⑩⑨をトレーに8個ずつ並べていく

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーには、横二列、縦四列に並べて、8個ずつ並べていく</li> </ul>
----------------	--

### かん水



- ⑪⑩のトレーを、水をはったオケの上に置き、ホース(シャワー栓)で水をまんべんなくかける。
- ⑫次にトレーごと、水をはったオケの中に浸す

障がい者が作業する際の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤシガラは、乾燥しているので、しっかり浸すこと(5分間はオケの中に浸す)</li> </ul>
----------------	---

## ベンチに苗の入った親苗床を並べる



- ⑬水に浸した苗の入った親苗床を、トレーごとベンチに運ぶ
- ⑭親株を配置するところに所定の間隔で並べる

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・かん水チューブの穴3個目ごとに並べていく  
・親株は、ランナーが発生する向きが決まっているので向きを揃える

## かん水チューブの設置



- ⑮かん水チューブを、苗のはいった親苗床の上のにせていく

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・親苗床の苗のランナーの上にかん水チューブをのせていく

## かん水チューブの固定



- ⑯かん水チューブが、ズレていかないように割り箸で固定する

障がい者が  
作業する際の  
留意点

・アルコール消毒をした割り箸を使用する  
・苗の入った親苗床5個ごとに割り箸をさして固定する